



創立以来、本来教育の根底に流れている精神は、『真実の希求』である。

この真実を求めてよりよく生きて行くには、生徒をして、自分の力で精一杯考え、悩み、決断し実行する実体的・積極的な態度と、絶えず動揺する己の心を、汝自身が制御し規正できなければ、『真実を希求する』という大理想の達成は困難である。

そこで、素朴で力強く、具体的で評価もし易い『己に克つ』を、第 6 代 (S48~50) 久保田信栄校長が時の職員・生徒に考案し設定して以来、事上錬磨の目標として、また教育の結晶として定着し、校風となり川中魂となって、本校の教育律となって今日に至っている。